



進路通信



岩手県立宮古恵風支援学校
進路部
発行 令和6年12月20日
(年間5回発行)

●高等部 後期校内・現場実習●

高等部後期現場・校内実習が9月30日(月)～10月18日(金)の日程で行われました。1年生はA班とB班に分かれて取り組みました。前期校内実習で身に付けた清掃作業にさらに磨きをかけ、近隣の一般企業でも短期間の就労体験等をさせていただきました。2年生は前期と異なる事業所での職種に挑戦し、新たに目標をもち取り組みました。3年生は最後の実習の生徒もおり、進路決定のために卒業後の生活をイメージしながら取り組みました。

一般就労グループ

実習先：マリンコープDORA、ほほえみの里、びはんストアオール店、ジョイス宮古千徳店、DCM宮古店、エフビー、ファル磯鶏店、とりもと

前期実習の経験を生かし、よりよいコミュニケーションを意識しながら取り組みました。それぞれのよさが仕事を通して伝わり、徐々に慣れていく姿はとても頼もしく、より進路決定に繋がる実習となりました。

福祉的就労グループ

実習先：宮古アビリティセンター、ワークプラザみやこ、ジョブシーズみやこ、みやこワーク・ステーション、いずみの里、すまいるわーく

各事業所で特色のある作業を行いました。「正確さ」や「作業スピード」を追求し、個々のペースで取り組みました。また、集中力が続くように休憩をはさみながら行いました。報告・連絡・相談など、実習をするにあたり改めての大切さを学びました。

介護サービス利用グループ

実習先：わかたけ学園、はまなす、SELPわかたけ

学校で実践している作業内容を取り入れ、施設で取り組むことができるように計画を立て実施しました。作業に取り組んだり、利用者さんと余暇を楽しんだりしながらリラックスして過ごすことができました。

校内実習グループ

活動場所：マルイ舗装アグリ事業部、グループホームたろう、わかたけ学園、カーリー亭農場南澤果樹園

前期の実習で培った知識を基にして、校内清掃に加え近隣企業に出向いて清掃作業や収穫体験を行いました。実習を通して、自分の行動を客観的に見ることや、自ら積極的な挨拶を心掛けて実践するなど、真剣に取り組む姿勢が見受けられました。来年の現場実習を見据えたとてもよい実習になりました。



● 中学部 後期校内実習 ●

中学部では年間2回、校内実習を行っています。今回の実習期間は10日間の作業学習で「まごころこめて、元気、集中、協力」を合言葉に10日間やり遂げることができました。

終了後の報告会では、それぞれの成果や目標が達成できたことを発表し、お互いを称え合いました。

結団式

それぞれの目標を発表！



無人販売

昼食後、毎日かかさず販売チェックをしました。



紙づくり

紙すき、ラミネートはがし、材料の計量など仕事に責任をもち、最後まで取り組みました。



製品づくり

カレンダー貼りや封筒折り、スライドカッターなど、どの作業にも集中して取り組みました。



販売会

たくさんのご来場、お買い上げ、ありがとうございました。



報告会

報告会では、振り返りを行い、成果を確認しました。また、“給料”をもらうことで働くイメージをもつことができました。



● 事業所見学会&しごとメッセ in 宮古

11月14日(木)に高等部1・2年生の一般就労希望の生徒を対象にした「事業所見学会」が行われ、株式会社エフビーと、パンチ工業株式会社を見学してきました。また、20日(水)に宮古市民総合体育館において「しごとメッセ in 宮古」が行われ、同様の生徒が参加しました。どちらも宮古公共職業安定所主催のもと、管内事業所に対する理解と関心を高め、早期の職業意識の啓発を図る目的で行われました。生徒は、実習で培った基本的な働く意識や態度などについて再確認するとてもよい機会となりました。

